



キャンプ利用状況(7月30日現在)



○ 宿泊利用者数 延べ 370 名 *7/29 宿泊分までの累計

・川井地区は、宮古市の沿岸からは約 35 ㌔も離れていることもあって、ここでの天気の状態から沿岸地域の天気を推し量ることはできません。屋外作業の可否は、現地のボラセンの判断によることとなります。雨による活動途中での中止の指示も同様です。

雨の日のオリエンテーション

- あいにく、きょうはキャンプの外は小雨模様でした。今朝のオリエンテーションは、食堂兼ミーティングルームで行いました。玄関前で清々しい空気を吸いながら行う場合と違って、開口一番の「おはようございます！」にも少々力が入らないところがあります。
- きょう、山田町と大槌町では雨が降っていなかったことから、予定どおり個人宅の瓦礫撤去作業にボランティアさんを送り出しました。



今朝のオリエンテーション (食堂兼ミーティングルーム)



小雨の中山田町へ向けて出発

宮古市仮設住宅でサロン活動始まる

- きょう 29 日、キャンプから初めて宮古市仮設住宅でのサロン活動に参加しました。上村(わむら)地区(12 戸)と日立浜町(浄土ヶ浜)地区(30 戸)の仮設住宅集会所で、それぞれ 2 名のボランティアさんが世話人として活動しました。サロンの周知が十分ではない中、ボランティアさん是对応に苦勞しました。上村住宅には 4 名の方が訪れましたが、日立浜町はゼロでした。サロン開設当初は、各戸チラシの配布による呼び掛けとともに、まず仮設住宅にお住まいの方々が足を運んでいただけるミニイベントの開催など、宮古市ボラセンと連携して行うことが必要です。